

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2023年11月8日

1. 2024年3月期 第2四半期決算	2
2. 2024年3月期 業績予想・配当予想	19

2024年3月期 第2四半期決算

企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
	島田組		国内（全国）
	みらい建設工業		国内（全国）
	青木マリーン		国内（全国）
		エムズ	首都圏
	東興ジオテック		国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		ミブコーポレーション	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

2024年3月期 第2四半期 業績推移

◆ 受注高は前年同期比減も、売上高、営業利益は前年同期比増を確保。

(億円)

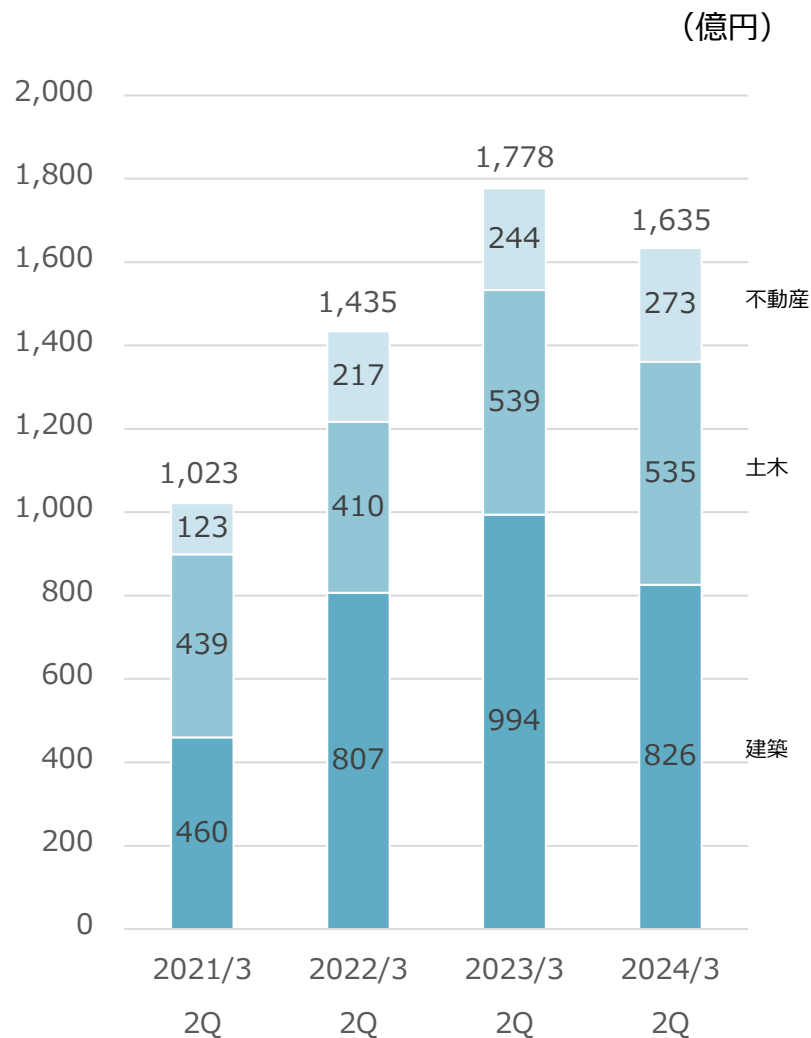
項目	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q	増減率
受注高	1,023	1,435	1,778	↓ 1,635	△8.0%
売上高	1,366	1,259	1,288	↑ 1,432	+11.3%
売上総利益	166	168	176	↑ 192	+9.0%
売上総利益率	12.2%	13.4%	13.7%	↓ 13.4%	△0.3pt
営業利益	35	31	28	↑ 33	+18.0%
営業利益率	2.6%	2.5%	2.2%	↑ 2.3%	+0.1pt
経常利益	36	31	29	↑ 34	+15.4%
経常利益率	2.6%	2.5%	2.3%	↑ 2.4%	+0.1pt
親会社株主帰属 四半期純利益	19	16	13	↓ 11	△16.2%
四半期純利益率	1.5%	1.3%	1.1%	↓ 0.8%	△0.3pt

セグメント別 受注高

◆ 建築は高松建設、青木あすなろ建設の減少が影響し前年同期比△16.9%、土木は前年同期比△0.6%と微減、不動産はタカマツハウスの増加により前年同期比+11.9%。

(百万円)

セグメント別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
建築	46,053	80,753	99,476	82,643
土木	43,922	41,070	53,912	53,594
不動産	12,354	21,712	24,449	27,352
連結合計	102,330	143,535	177,837	163,590

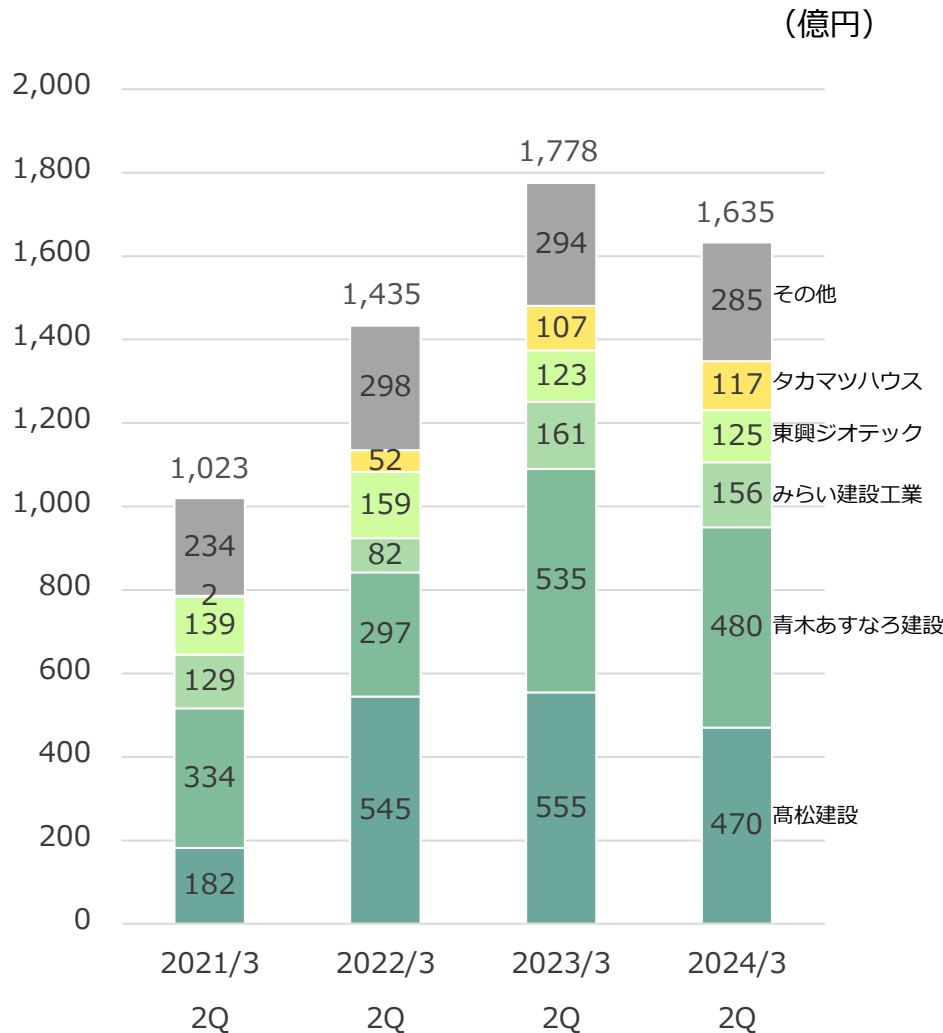


中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設はマンションの受注減により前年同期比△15.4%、青木あすなる建設は大型案件受注が前年同期比では少なく、前年同期比△10.2%と減少。みらい建設工業は前年同期比△2.8%、東興ジオテックは前年同期比+1.5%。タカマツハウスは前年同期比+8.9%と好調を維持。

(百万円)

会社別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
高松建設 (単体)	18,277	54,506	55,580	47,017
青木あすなる 建設 (単体)	33,477	29,721	53,564	48,079
みらい 建設工業 (単体)	12,907	8,229	16,113	15,669
東興 ジオテック (単体)	13,932	15,955	12,379	12,566
タカマツ ハウス (単体)	239	5,238	10,769	11,724
その他 (含連結調整)	23,498	29,886	29,432	28,535
連結合計	102,330	143,535	177,837	163,590



中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 青木あすなる建設は土木で1Qに北海道新幹線、2Qに風力発電などの受注があり、前年同期比+11.2%。タカマツハウスは前年同期比△23.2%、その他中核5社以外のグループ会社で前年同期比+12.7%。
(百万円)

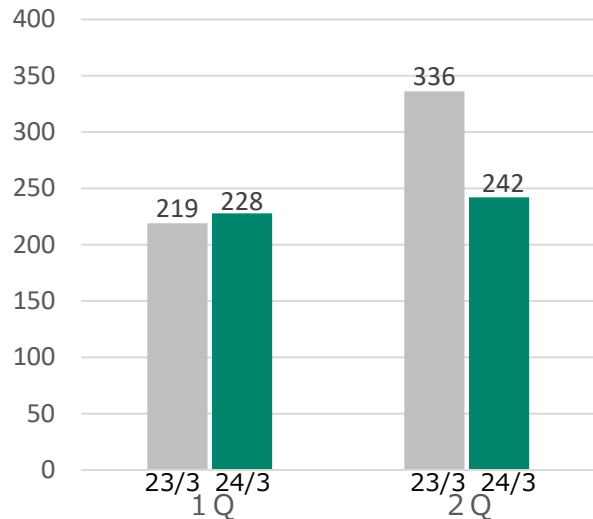
会社別	2023/3 2Q	2024/3 2Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)	195,177	208,380	↑ 13,203	+6.8%
青木あすなる建設 (単体)	建築	86,493	↑ 5,954	+6.9%
	土木	62,922	↑ 7,039	+11.2%
	合計	149,415	162,409	↑ 12,994
みらい建設工業 (単体)	35,766	33,921	↓ △1,845	△5.2%
東興ジオテック (単体)	12,568	13,110	↑ 542	+4.3%
タカマツハウス (単体)	4,188	3,216	↓ △972	△23.2%
その他 (含連結調整)	19,882	22,407	↑ 2,525	+12.7%
連結合計	416,996	443,443	↑ 26,447	+6.3%

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

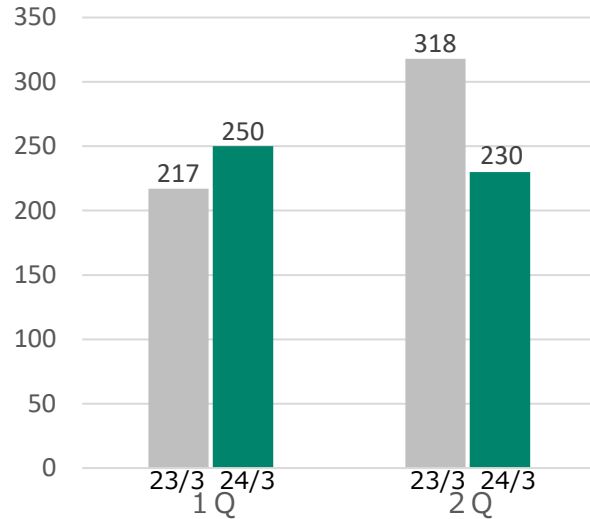
中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

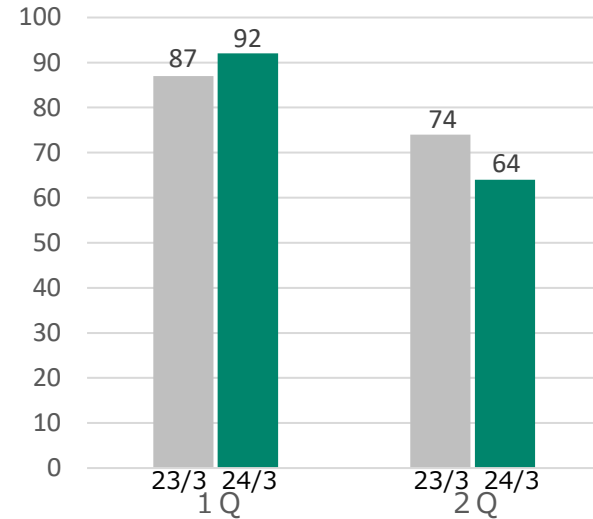
高松建設



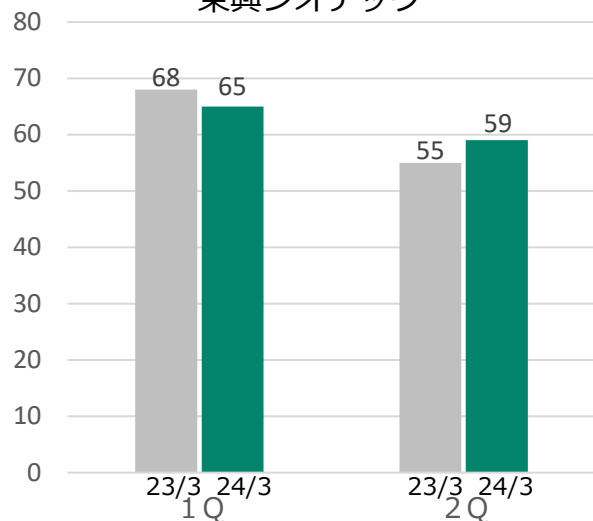
青木あすなろ建設



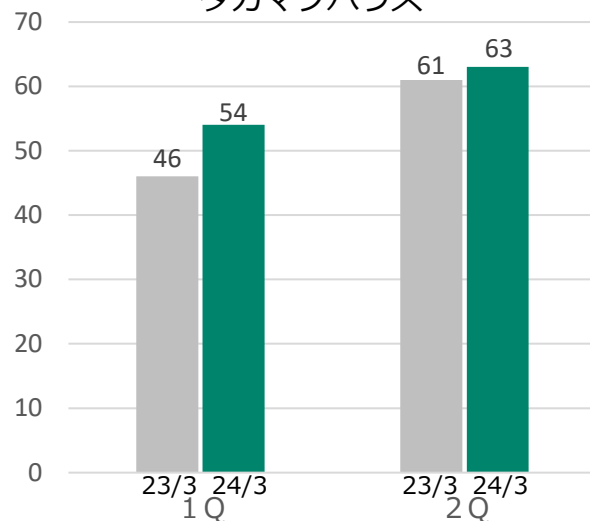
みらい建設工業 (億円)



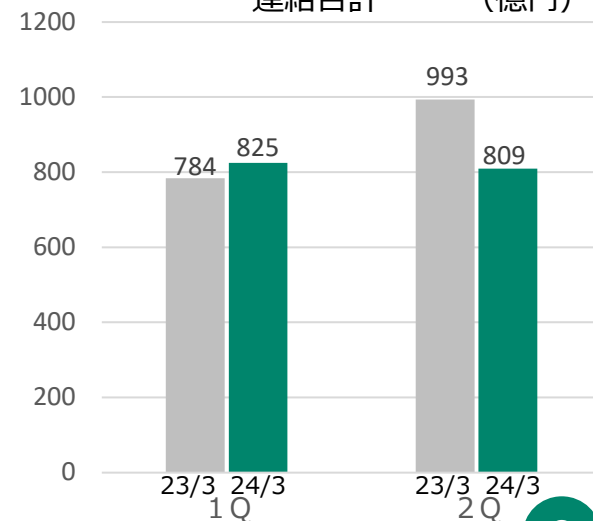
東興ジオテック



タカマツハウス



連結合計 (億円)



高松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 大阪・東京ともにマンションで前年同期比大幅減も、非マンションは前年同期比増。しかしマンションでの減少分を補えず全体で前年同期比減となった。
- ◆ 大阪のマンション比率が例年と比較すると低く、大阪の通期のマンション比率もこの傾向が続くと思われる（20/3 2Q：29.5%、21/3 2Q：20.1%、22/3 2Q：34.8%）。

マンション・非マンション別 受注高

(百万円)

	大阪				東京			
	2023/3 2Q	構成比	2024/3 2Q	構成比	2023/3 2Q	構成比	2024/3 2Q	構成比
マンション	9,769	35.8%	1,902	6.5%	24,013	84.9%	10,920	60.9%
非マンション	17,530	64.2%	27,182	93.5%	4,269	15.1%	7,013	39.1%
合計	27,299	100%	29,084	100%	28,282	100%	17,933	100%

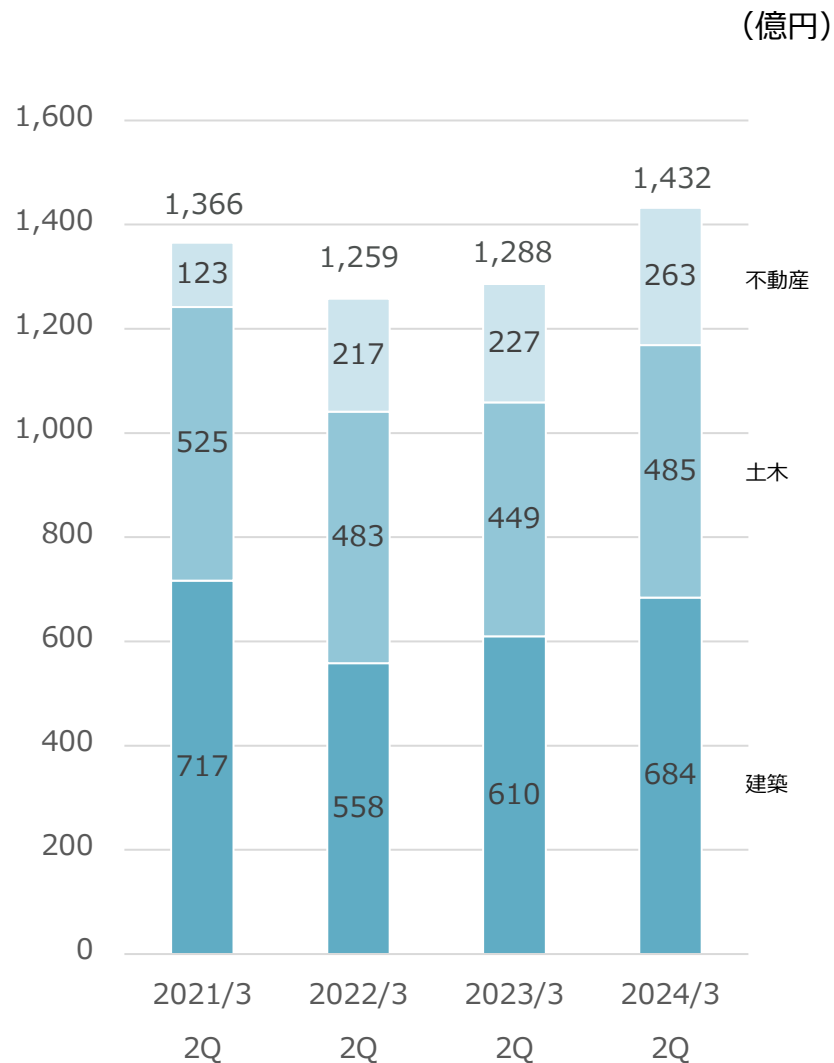
※数値はグループ会社間取引を含む。

セグメント別 売上高

◆ 建築は高松建設と青木あすなろ建設の増加により前年同期比+12.2%、土木は青木あすなろ建設、東興ジオテックで減少も、みらい建設工業で大幅増となり+7.8%、不動産はタカマツハウスが好調を維持し+15.6%。

(百万円)

セグメント別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
建築	71,755	55,884	61,044	68,486
土木	52,564	48,382	44,999	48,505
不動産	12,354	21,712	22,763	26,307
連結合計	136,674	125,980	128,807	143,298

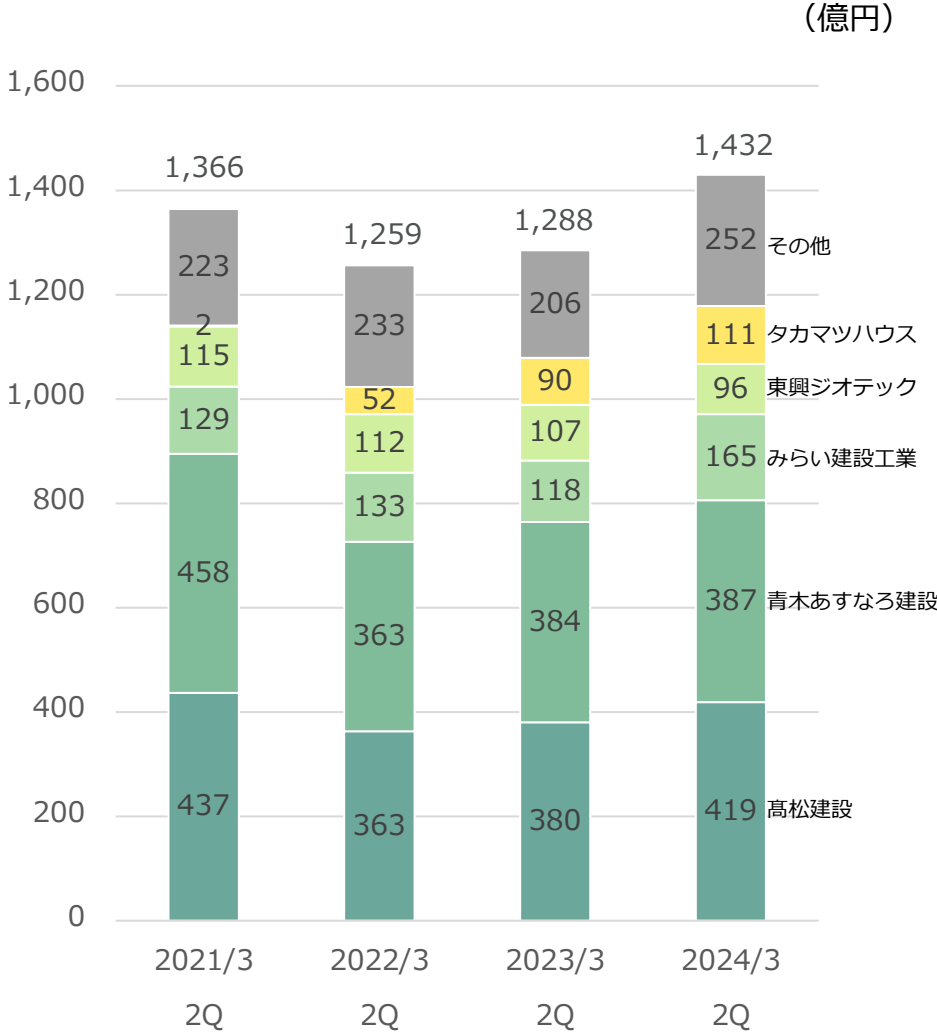


中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設は前年同期比+10.2%、青木あすなる建設は前年同期比+0.8%で微増、みらい建設工業は前年の受注回復や順調な工事進捗により前年同期比+40.1%と大幅増、東興ジオテックは繰り越し工事の不足などの影響により前年同期比△10.7%、タカマツハウスは前年同期比+23.2%で好調を維持、その他中核5社以外のグループ会社も前年同期比+22.3%と大幅増。

(百万円)

会社別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
高松建設 (単体)	43,720	36,346	38,048	41,928
青木あすなる 建設 (単体)	45,841	36,379	38,457	38,780
みらい 建設工業 (単体)	12,914	13,354	11,822	16,559
東興 ジオテック (単体)	11,570	11,273	10,786	9,628
タカマツ ハウス (単体)	239	5,238	9,083	11,193
その他 (含連結調整)	22,390	23,390	20,611	25,210
連結合計	136,674	125,980	128,807	143,298

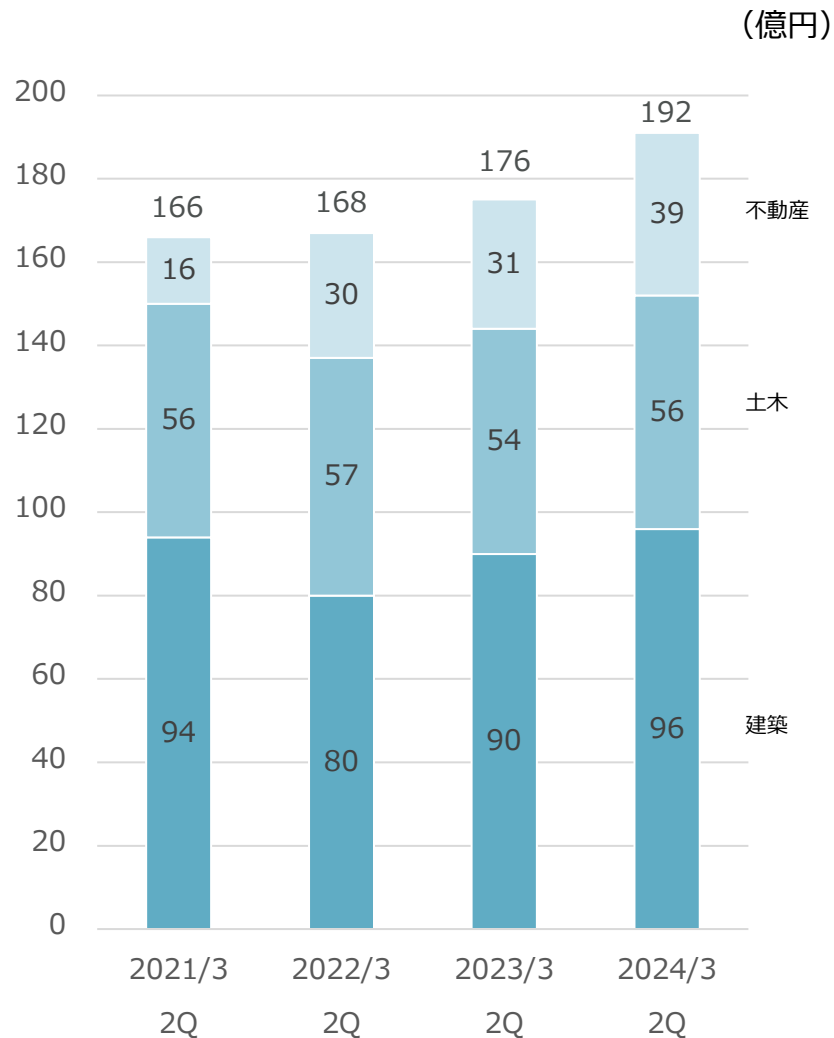


セグメント別 売上総利益

◆ 建築は青木あすなる建設で減少も、高松建設の増加により前年同期比+6.4%、土木は東興ジオテックで減少も、青木あすなる建設とみらい建設工業で増加し前年同期比+3.8%、不動産はタカマツハウスが好調を維持し前年同期比+25.5%と大幅増。

(百万円)

セグメント別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
建築	9,408	8,042	9,079	9,657
土木	5,615	5,760	5,439	5,644
不動産	1,625	3,036	3,132	3,931
連結合計	16,649	16,840	17,651	19,234

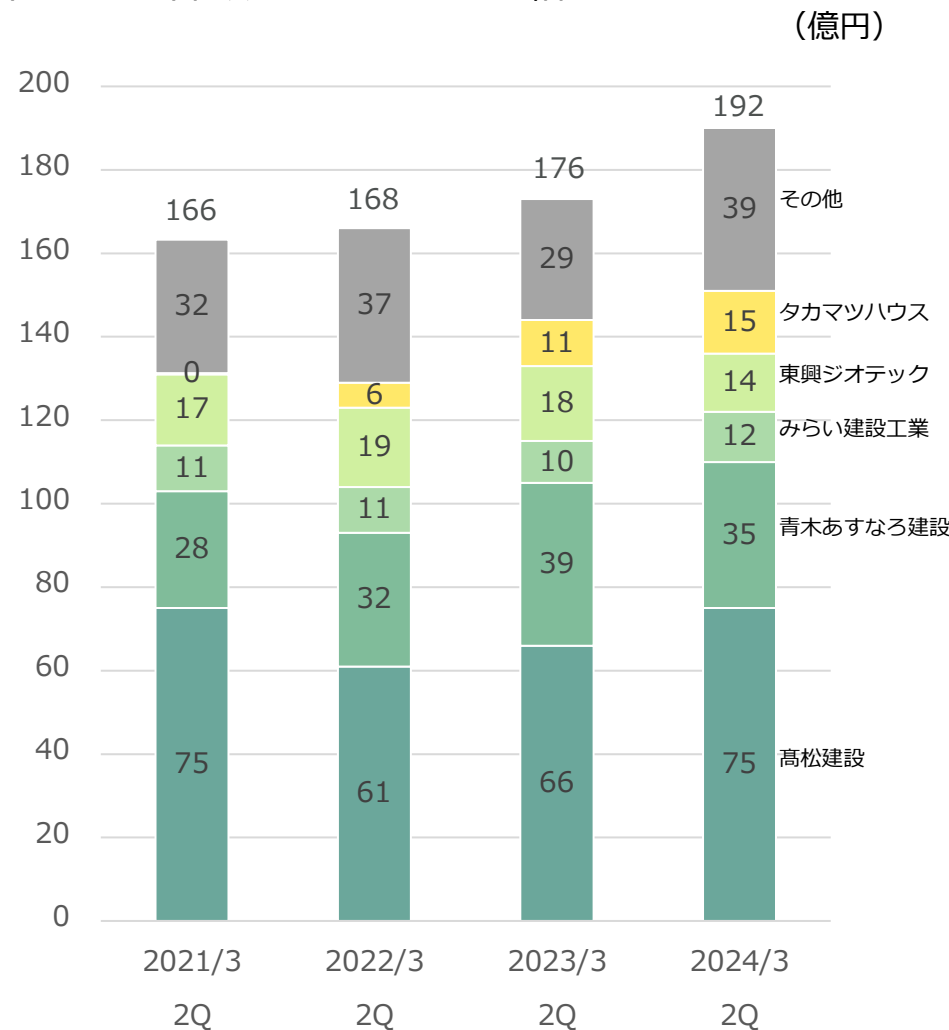


中核事業会社別 売上総利益

- ◆ 高松建設は売上の増加と売上総利益率の上昇により前年同期比+12.5%、青木あすなる建設は主に建築で売上総利益率が低下し前年同期比△10.7%、みらい建設工業は売上の増加により前年同期比+19.7%、東興ジオテックは売上の減少、売上総利益率の低下により前年同期比△21.5%、タカマツハウスは好調を維持し前年同期比+29.0%、その他中核5社以外のグループ会社でも前年同期比+35.1%と大幅増。

(百万円)

会社別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
高松建設 (単体)	7,589	6,174	6,673	7,508
青木あすなる 建設 (単体)	2,810	3,217	3,943	3,521
みらい 建設工業 (単体)	1,132	1,138	1,051	1,258
東興 ジオテック (単体)	1,783	1,989	1,882	1,478
タカマツ ハウス (単体)	37	621	1,167	1,505
その他 (含連結調整)	3,298	3,701	2,935	3,964
連結合計	16,649	16,840	17,651	19,234

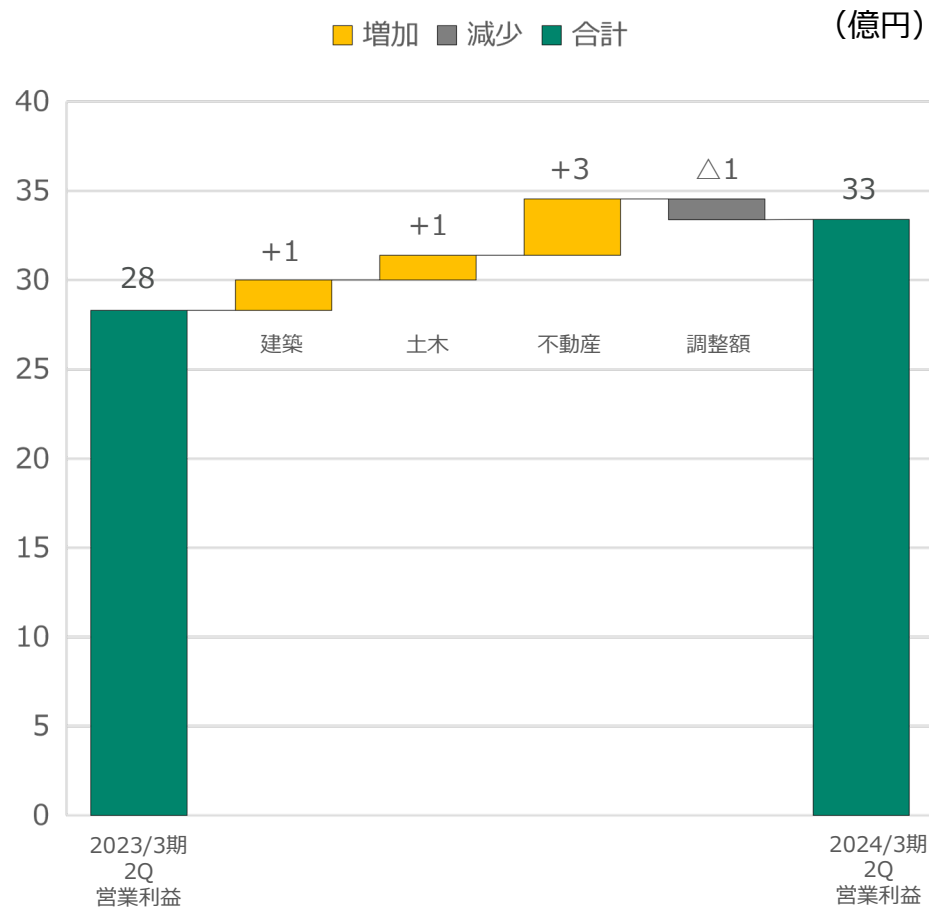


セグメント別 営業利益

◆ 建築は青木あすなる建設で減少も、高松建設で増加し前年同期比+14.8%、土木は東興ジオテックで減少も、青木あすなる建設、みらい建設工業で増加し前年同期比+5.5%、不動産はタカマツハウスが好調を維持し前年同期比+21.1%。

(百万円)

セグメント別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
建築	1,803	72	1,159	1,330
土木	2,997	3,110	2,529	2,667
不動産	683	1,935	1,499	1,815
連結調整	△1,885	△1,989	△2,357	△2,474
連結合計	3,599	3,128	2,830	3,339



※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

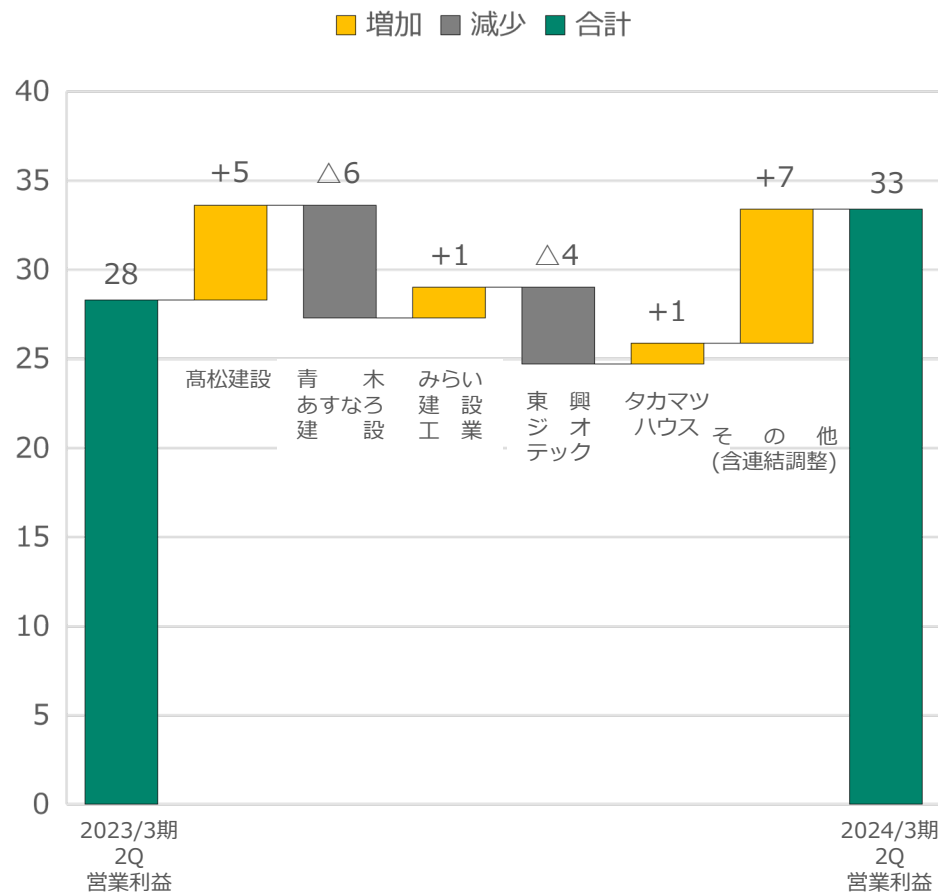
中核事業会社別 営業利益

◆ 高松建設は販管費増も、売上の増加、売上総利益率の上昇により前年同期比+47.9%と大幅増、青木あすなる建設は売上総利益率の低下、販管費の増加により前年同期比△60.2%と大幅減、みらい建設工業は売上の増加により前年同期比約4.6倍と大幅増。東興ジオテックは売上の減少、売上総利益率の低下により前年同期比△46.7%と大幅減、タカマツハウスは販管費増も、売上の増加、売上総利益率の上昇により前年同期比+24.6%と好調を維持、その他中核5社以外のグループ会社も前年同期比で約7.5億円赤字幅を縮小した。

(百万円)

(億円)

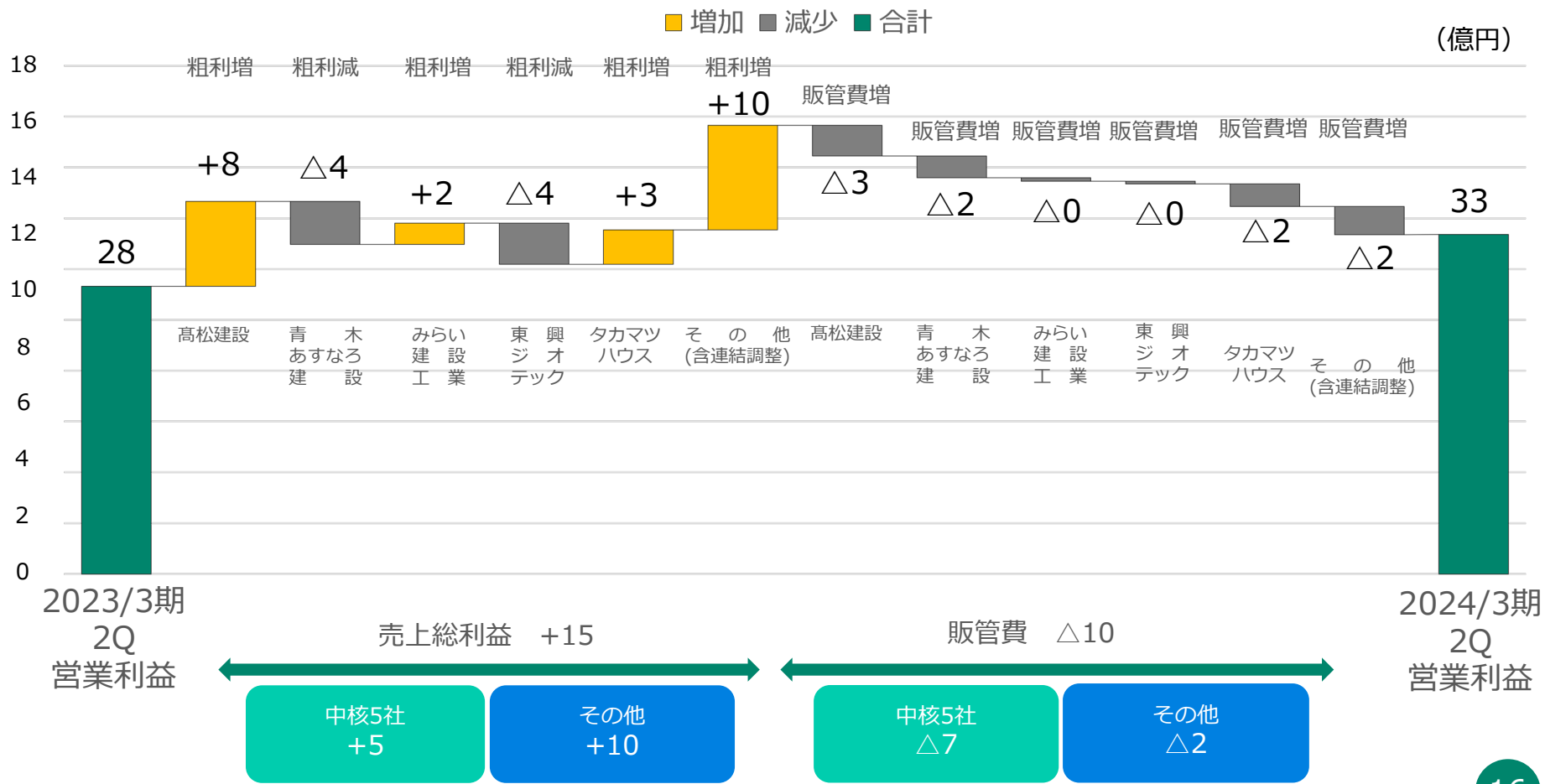
会社別	2021/3 2Q	2022/3 2Q	2023/3 2Q	2024/3 2Q
高松建設 (単体)	2,329	856	1,110	1,642
青木あすなる 建設 (単体)	41	339	1,051	418
みらい 建設工業 (単体)	221	199	48	220
東興 ジオテック (単体)	962	1,133	922	491
タカマツ ハウス (単体)	△143	303	478	596
その他 (含連結調整)	189	298	△779	△28
連結合計	3,599	3,128	2,830	3,339



売上総利益・販管費 営業利益増減分析

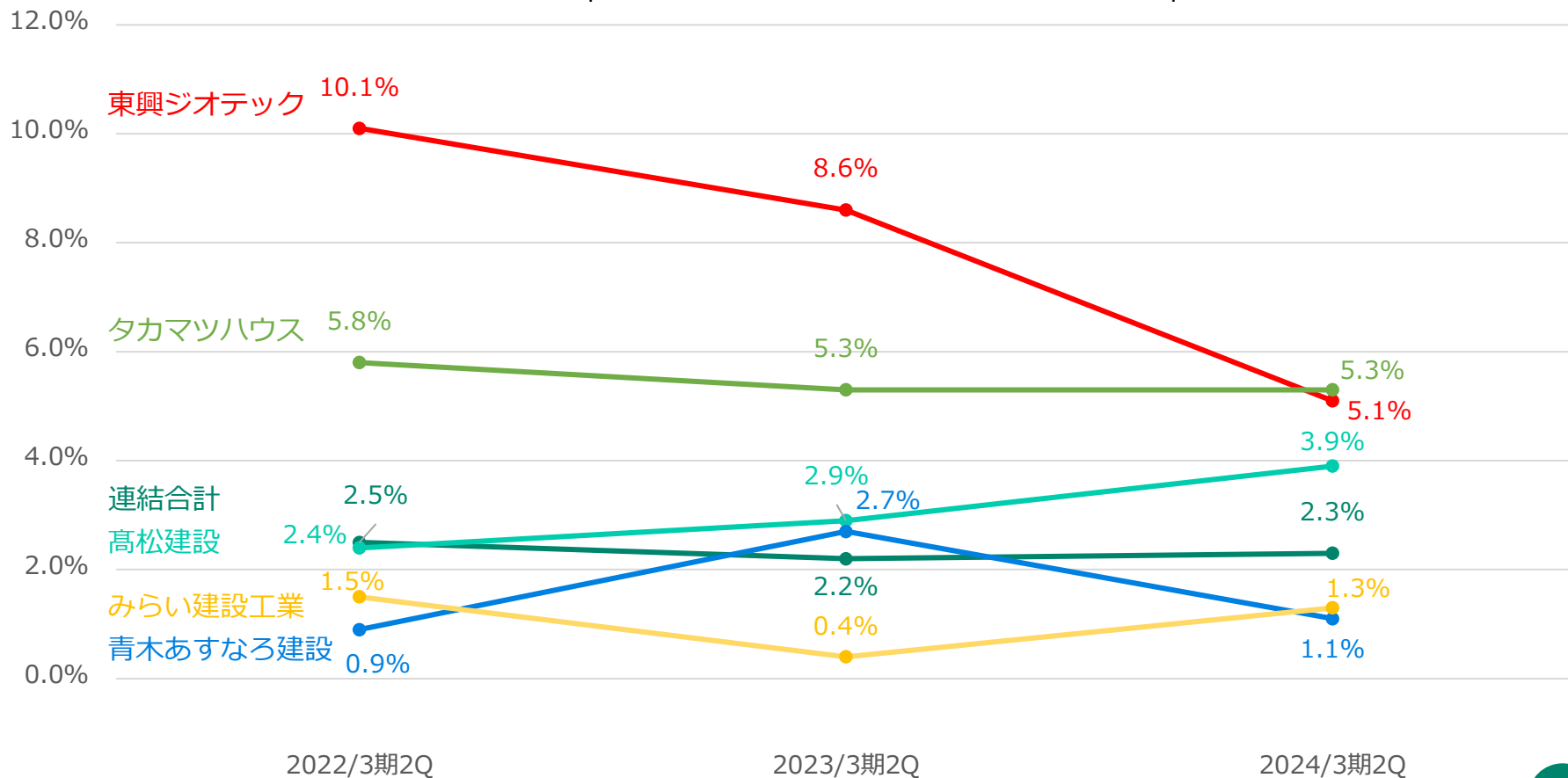
◆ 青木あすなる建設および東興ジオテックの売上総利益減を、主に高松建設とその他中核5社以外のグループ会社の売上総利益増で補い、前年同期比約15億円の売上総利益増。販管費は主に高松建設、青木あすなる建設、タカマツハウスで人件費が増加し、前年同期比約10億円の増加となり、営業利益は全体で前年同期比約5億円の増加となった。

営業利益増減分析



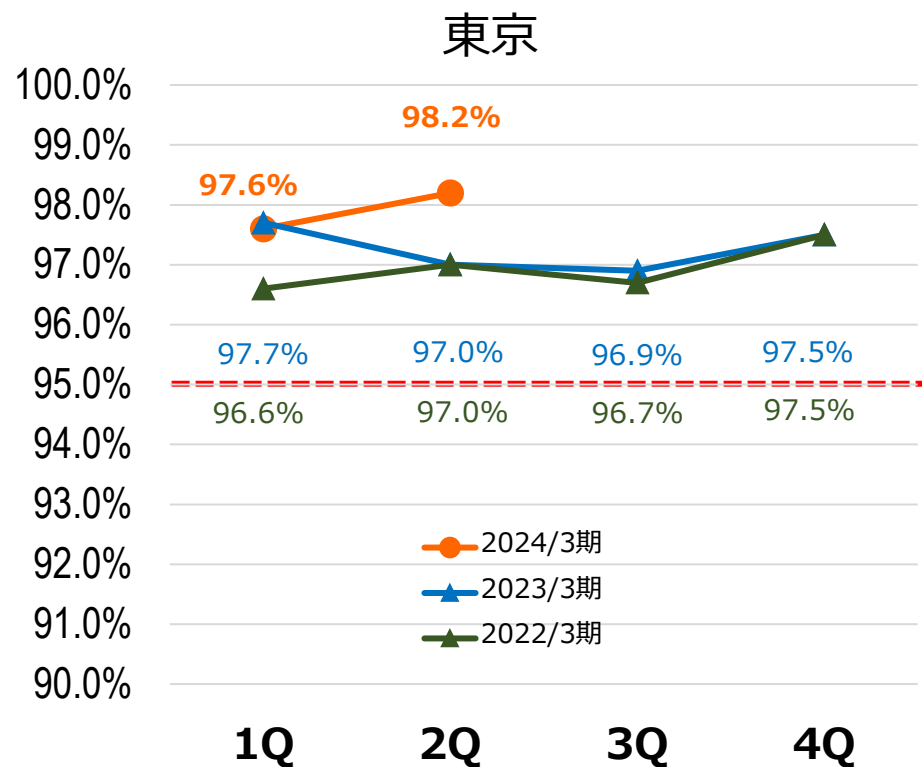
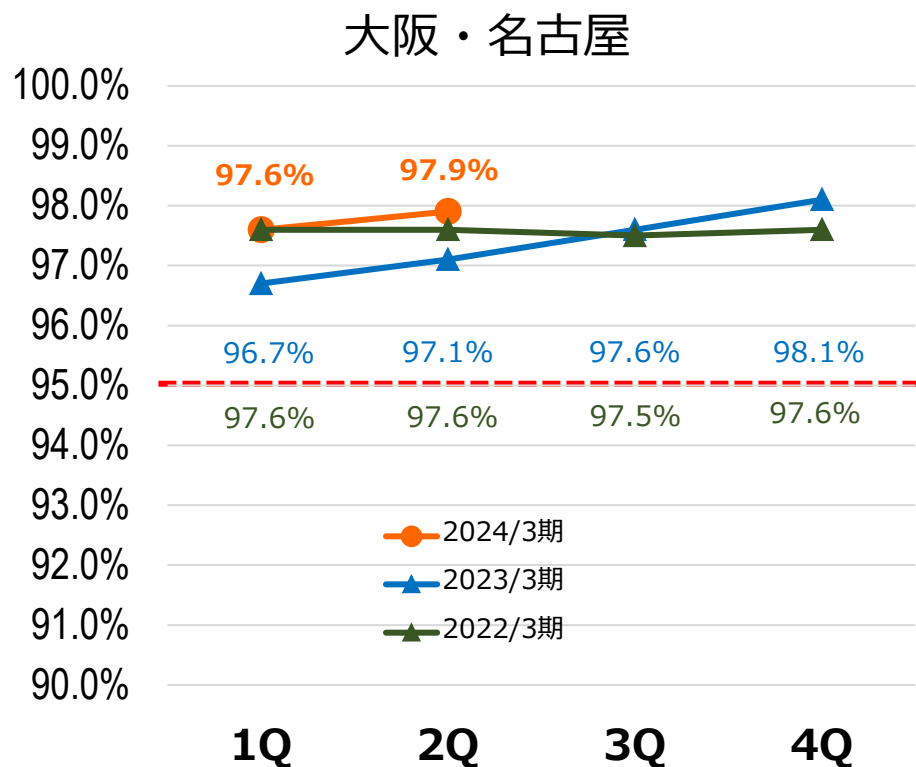
連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設の売上総利益率は前年同期比+0.4ptと微増、賃金水準の引き上げによりにより販管費のうち主に人件費が増加するも、営業利益率は前年同期比+1pt。
- ◆ 青木あすなる建設の売上総利益率は前年同期比△1.2pt、採用の継続と賃金水準の引き上げにより、販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前年同期比△1.6pt。
- ◆ みらい建設工業は売上総利益率で前年同期比△1.3pt、販管費のうち主に人件費が微増も、売上が増加し、営業利益率は前年同期比+0.9ptと微増。タカマツハウスは前年同期比横ばい。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率が前年同期比△2.1ptと大幅減となり、営業利益率も前年同期比△3.5ptと大幅減。



高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は24/3月期2Qも95%以上を維持。



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

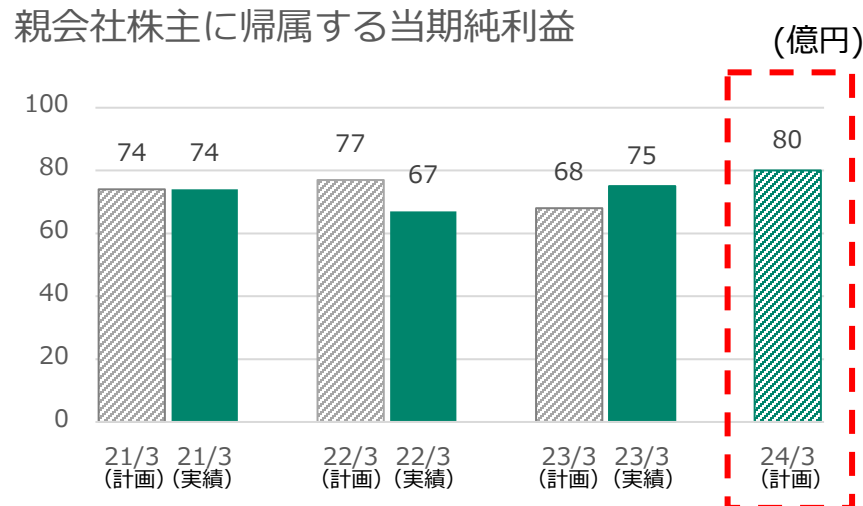
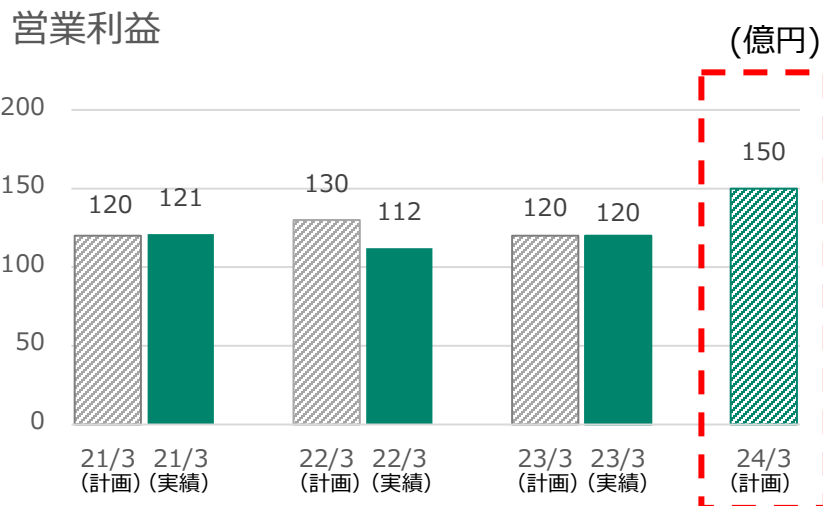
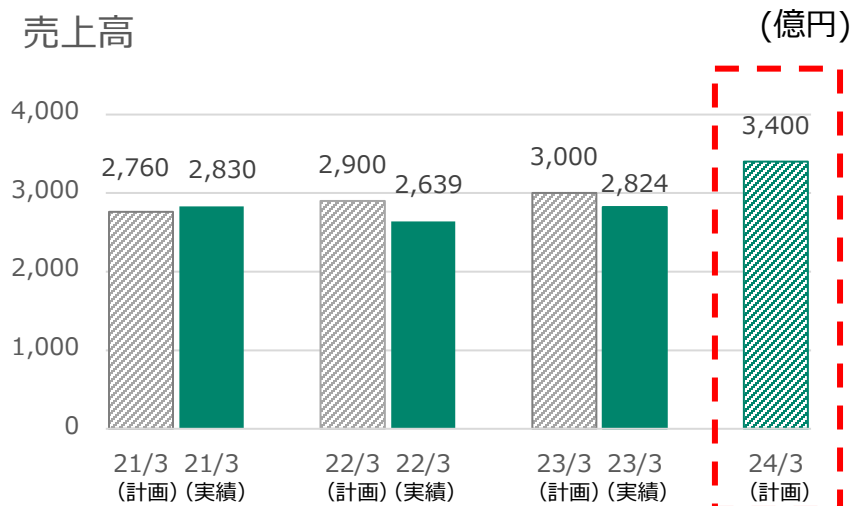
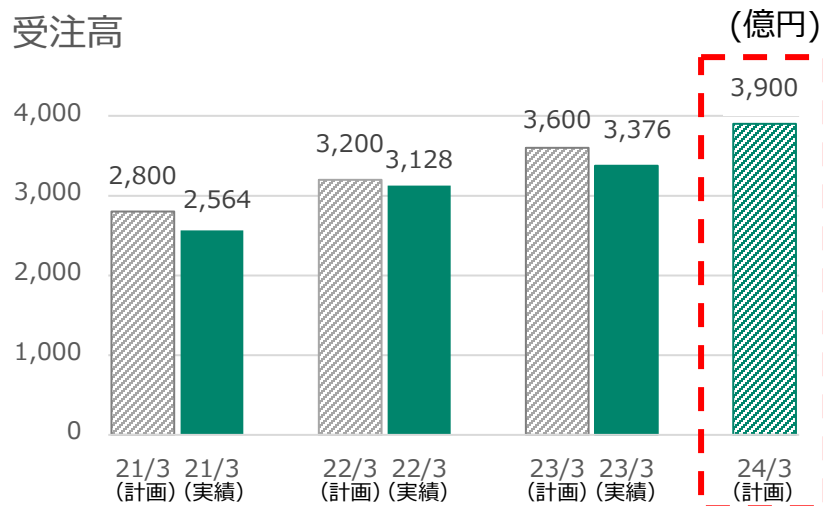
「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
 ÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2024年3月期
業績予想・配当予想

2024年3月期 業績予想

◆ 2024年3月期は中期経営計画に沿った業績予想。通期見込みに変更はない。



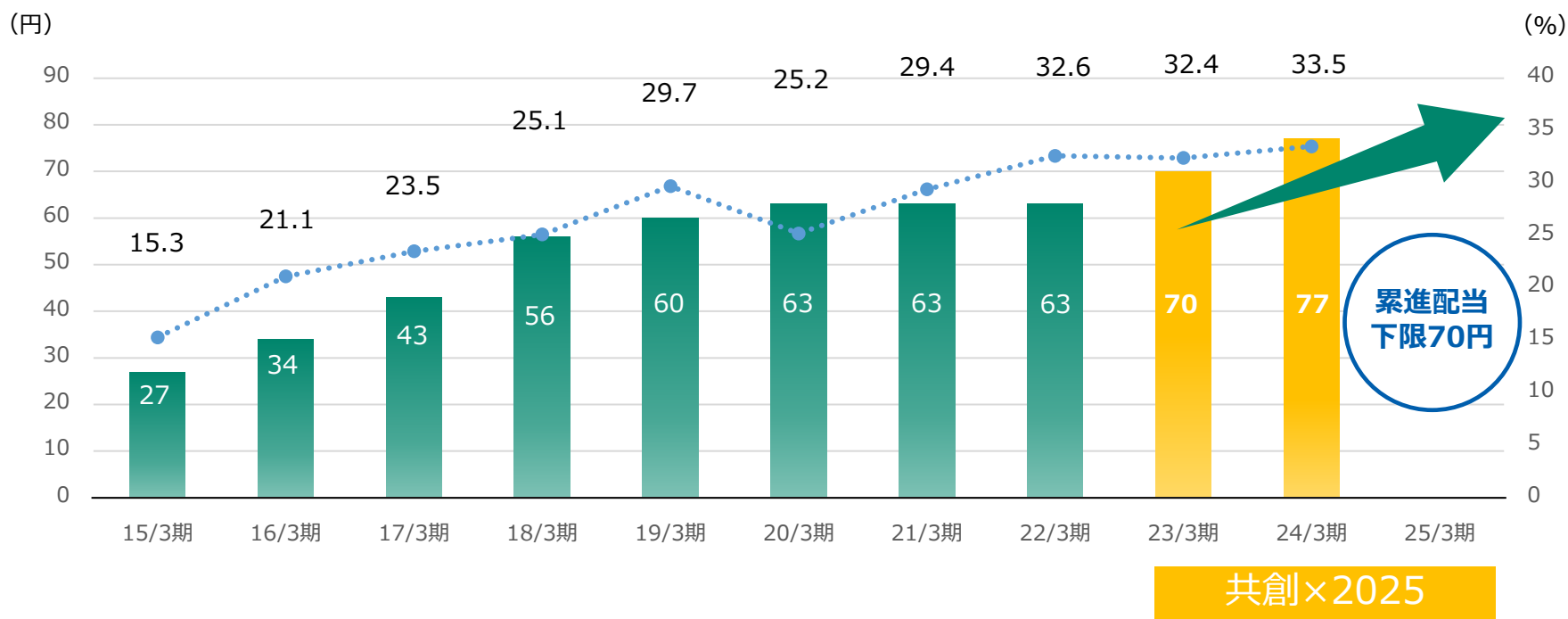
2024年3月期 業績予想のポイント

2024年3月期第2四半期 業績の総括	<ul style="list-style-type: none">受注・売上に関してはほぼ予定通りの進捗であるが、営業利益は予定を下回っている。原材料価格、資機材価格の高止まり、労務費の上昇が続いているものの、売上、営業利益については前年同期比で増加となっている。
事業環境認識	<ul style="list-style-type: none">全体的に原材料価格、資機材価格については高止まりが続いているが、一部の原材料などは上昇している。労務費については上昇基調が続いており、一部工種においては高騰している。一部設備に関してはリードタイムが長くなっているだけでなく、設備業者の施工人員も不足気味となっている。施工人員については慢性的に不足状態が続いている。
今期の見通し・取組み等	<ul style="list-style-type: none">建築セグメントは企業の堅調な設備投資意欲により市場は堅調に推移する見込みであるが、原材料価格、資機材価格の高止まりや労務費の高騰、設備調達のリードタイム長期化などにより受注環境の厳しさが増してきている。賃貸マンションについて、市場は堅調に推移する見込みであるが、原材料価格、資機材価格や労務費の高騰により建築コストが上昇しており、収益確保のためには選別受注が必要になってきている。不動産セグメントは住宅ローンの固定金利の上昇傾向、また建設資機材価格の高騰により住宅価格が上昇基調にあり、下期に向け事業環境の鈍化傾向が強くなっている。原材料価格、資機材価格については高止まりが続き、労務費は上昇基調が続いている。公共事業については物価スライドが適用されるケースもあるが、民間発注の工事については物価上昇の影響を受けても発注者への転嫁への理解が得られないケースもあり、下期の利益圧迫要因となっている。

2024年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画「共創×2025」（2023年3月期～2025年3月期）の対象年度においては**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を70円に設定**。業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2023年3月期の配当額は1株当たり70円と、期初発表の63円より**7円の増額**。
- ◆ 2024年3月期の配当額は1株当たり77円と、2023年3月期配当額より**7円の増額**予定。

配当額・配当性向 推移



政策保有株式の縮減

- ◆高松コンストラクショングループでは、政策保有株式については、2022年度において全て売却いたしました。
- ◆連結子会社のうち、投資株式の貸借対照表計上額（投資株式計上額）が最も大きい会社（最大保有会社）である青木あすなろ建設（株）については、2023年3月末時点で簿価約32億円であり、連結純資産の1.4%程度となっています。
- ◆その他のグループ会社については、2023年3月末時点で簿価約11億円であり、連結純資産の0.5%程度となっています。
- ◆保有株式については、取引先との取引内容、取引の規模、取引の継続期間等を考慮し、その保有の適否を取締役会において每期検証しており、同社の企業価値増大に資すると認められず保有意義が希薄化した株式は順次売却する方針です。

高松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。